

NāgabodhiのŚrī-guhyasamājamaṇḍalopāyikā-vimśati-vidhiにおける5種のsthānakaと53種のākṣepaについて

田 中 公 明

(1) はじめに

『秘密集会タントラ』の解釈学派「聖者流」のNāgabodhi/Nāgabuddhiに帰せられる Śrī-guhyasamājamaṇḍalopāyikā-vimśati-vidhi（以下 Vimśati-vidhiと略）は、『秘密集会』阿閦金剛を主尊とする三十二尊曼荼羅の儀軌で、後期密教における曼荼羅儀礼の基本典籍の一つに数えられる。

筆者は、ネパールで発見されたサンスクリット（以下 Skt.と略）写本 *Vajrācāryayanayottama*⁽¹⁾から回収された *Vimśatividhi* 各章のローマ字化テキストを複数の学術誌に発表してきたが⁽²⁾、今回はその第3章 *vighnopāśamanavidhi* に説かれる5種のsthānaka（立勢）と53種のākṣepa（ポーズ）について紹介したい。

なお第3章は写本の状態が悪く、判読不能箇所が多数存在する。また *Vimśatividhi*（チベット訳）では、58種のsthānakaとākṣepaの名目を列挙するに過ぎないが、*Vajrācāryayanayottama*では、一々のsthānakaとākṣepaが、どのようなものであるかを詳しく説明しており、他の各章に比して著しく増広されている。

そのため第3章のテキスト全文を掲載すると、紙数の制限を大幅に超過するので、今回はsthānakaとākṣepaを説いた部分のみを紹介し、他の部分については、後日別稿を期したい。

(2) 5種の sthānaka と53種の ākṣepa とは何か

それでは今回取り上げる 5種の sthānaka と53種の ākṣepa について、その内容を概観してみよう。

これらの sthānaka と ākṣepa は、曼荼羅の製作に先だって、曼荼羅を描く土壇を金剛所成の大地とし、魔を退治するために阿闍梨が行うパフォーマンスである。なお『クリヤーサングラハ・パンジカ』*Kriyāsaṃgraha pañjikā*（以下 KSP）には、一々の sthānaka と ākṣepa ごとに真言が説かれている。それによれば samapada は三界に住する一切の魔 *traidhātukāvasthitasarvamāra*, kūrmapāda は地下に住する等の魔 *pātālavāsinyādimāra*, ekapāda は空中に住する等の魔 *antarīkṣacarādimāra* というように、sthānaka/ākṣepa ごとに調伏対象が定められているが、これが当時のインド密教における共通認識であったかについては疑問が残る。

いっぽう *Vajrācāryanayottama* では、これらについて、「そこに（説かれる）展右 ālīḍha 等の 5種の sthānaka と kūrmapāda 等の53の ākṣepa は、マーヤー[ジャー]ラ等のタントラの所説である」⁽³⁾ と説明している。なお『マーヤージャーラ』（幻網）とは、チベットで無上瑜伽タントラの毘盧遮那族⁽⁴⁾に分類される後期密教聖典である。サンスクリット原典は未発見であるが、チベット訳には、吐蕃時代の旧訳⁽⁵⁾とリンチェンサンポによる新訳（11世紀の訳出）⁽⁶⁾の2種がある。また新訳に対応する漢訳に、宋の法賢訳『仏説瑜伽大教王經』（大正 No.890）がある。

調査の結果、これらの sthānaka と ākṣepa はチベット訳（新訳本）と漢訳の第二章「曼荼羅品」⁽⁷⁾に説かれることがわかった。

そこで『マーヤージャーラ』の漢訳・チベット訳と、*Vimśatividhi* のチベット訳、*Vajrācāryanayottama* に説かれる sthānaka と ākṣepa を、表に整理し

NāgabodhiのŚrī-guhyasamājamanḍalopāyikā-viṁśati-vidhiにおける5種のsthānakaと53種のākṣepaについててみよう。

表1のように、これら4文献に説かれるsthānakaとākṣepaは、名目だけでなく順序もほぼ一致していることがわかる。しかし『瑜伽人教王経』では、チベット訳にある金剛嬉戯勢vajravilāsaが欠け、チベット訳では旋網舞勢bhramarijālaの順序が他文献とは異なるという相違点がある。

またViṁśatividhi(チベット訳)とVajrācāryayanayottamaの双方には、金剛鉤勢vajrāṅkuśābhinayaが欠けているが、これはViṁśatividhiの成立当初から欠落していた可能性がある。

(3) 他の密教儀礼文献に見られるsthānakaとākṣepa

いっぽうこれに似たsthānakaとākṣepaは、インドで成立した他の密教儀礼文献にも説かれている。このうち『秘密集会』の解釈学派として「聖者流」と並び称される「ジュニヤーナパーダ流」の創始者、ブッダジュニヤーナパーダに帰せられる『立勢の莊嚴』*sTaṇ stabs kyi bkod pa*⁽⁸⁾は、上記とほぼ同じsthānakaとākṣepaを説くが、基本的なsthānakaを5種ではなく亀歩勢kūrmapādaと翹足舞勢ekapādaを加えた7種、ākṣepaを44種とし、その他にāsanaを7種と数えている。なお7種のāsanaは、Viṁśatividhiの53種のākṣepaのうち、45.vajraparyanyaから51.salilāsanaまでに相当する。

また『立勢の莊嚴』では、sthānakaとākṣepaを組み合わせ、1) *pratyāliṅḍha*に10、2) *samapada*に5、3) *vaiśākha*に6、4) *āliṅḍha*に9、5) *maṇḍalapada*に9、6) *ekapada*に2、7) *kūrmapada*に1というように配当する。ākṣepaの順序が『マーヤージャーラ』と大幅に異なるのも、sthānakaへの配当を考慮してākṣepaを配列しなおしたからと思われる。しかし7種のsthānakaに配当されるākṣepaの数を合計しても、42種にしかならない⁽⁹⁾。

いっぽうsthānakaとākṣepaは、『ヴァジラーヴァリー』*Vajrāvalī*(以

表1 『マーヤージャー・タントラ』所説の5種のsthānakāと53のākṣepa

『瑜伽大教王経』	Māyālātāntra(チベット語)	Vimśatidhī	Vajrācāryana-yottama
1. 左舞踏勢	1. g-yas brkyāñ	1. gyas brkyāñ	āṅghapada
2. 右舞踏勢	2. g-yon brkyāñ	2. guyon brkyāñ	pratyālīdhapada
3. 每舍珂	3. sa ga'i 'dug stāñs	3. sa ga	vaiśakhapada
4. 曼陀羅勢	4. zlum poi 'dug stāñs	4. zlum po	māndalapada
5. 平足立勢	5. 'thun pa'i rkañ stabs	5. mñām pa'i stāñ stabs	samapada
1. 車歩勢	1. rus shal gyi rkañ stabs	1. rus sbal gyi stāñ stabs	kūrmmapāda
2. 金剛傳日嚙咄羯哩沙擎勢	2. rdo rje brdeg pa	2. rdo rje phul byuñ	vajrotkarṣaṇa
3. 翳足舞勢	3. rdo rje 'jo lshul	3. rdo rje sgess pa	vajravilāsa
4. 旋網舞勢	4. rkañ pa' gcig gi stāñs	4. rkāñ gcig gis phur stāñs	ekapāda
5. 獅子歩勢	8. buñ bai phur pa'i stāñ stabs	5. buñ bai phur stāñs	bhramarijāla
6. 獅子變身勢	5. señ gei stabs	6. señ gei stāñ stabs	simphapada
7. 金剛鎧勢	6. señ gei klal pa	7. señ gei gal pa	simhavijrmbhitapada
8. 金剛索勢	7. rdo rje srog	8. rdo rje loags sgrog	vajrasphota
9. 金剛忿怒勢	9. rdo rje gsor ba	9. rdo rje skor 'dzin	vajrodvalita
10. 金剛鉗勢	10. rdo rjei stabs	10. rdo rje 'phen pa	vajrākṣepa
11. 金剛舞勢	11. rdo rje dgug pa		
12. 金剛哈嚙體勢	12. rdo rje gar	11. rdo rje'i gar stabs	vajranarttana
13. 金剛快多梨步勢	13. rdo rje 'jigs su ruñ ba	12. rdo rje jigs byed	vajrabhairava
14. 金剛骨朵勢	14. rdo rje ro lañs ma	13. rdo rje ro lañs	vajavetāli
15. 插襪理目呵地瑟吒那步	15. rdo rje tho ba	14. rdo rje tho ba	vajramudgara
16. 金剛軍擎梨步	16. rdo rje'i byin brlabs	15. gdon bñi byin gyis brlab pa	caturmmukhādhishñihāna
17. 幻化步	17. rdo rje gdu ba	16. rdo rje 'khyil ba	vajrakundali
18. 金剛塞怖吒步	18. bud med kyi sgyu 'phul stāñ stabs	17. bud med lar sgyu 'phul byed pa	strīmāyākaranā
19. 大力鉗步	19. rdo rjei dra ba	18. rdo rje loags sgrog	vajrasphotana
20. 金剛牙步	20. stobs po che'i 'dges pa	19. stobs po che phul byuñ	māhabalotkarṣaṇa
21. 金剛夾步	21. rdo rje mche ba	20. rdo rje mche ba	(vairādamstra)
22. 金剛鎗步	22. rdo rje gad mo	21. rdo rje bzād pa	vajrahasita
23. 持劍勢	23. rdo rje sgra	22. rdo rje sgrogs pa	vajraranita
	24. ral griñ thabs	23. ral griñ tshul	khadgābbhinaya

24. 持金剛勢	25. rdo rje'i thabs	24. rdo rje'i tshul	vairābhinaya
25. 持輪勢	26. 'khor loi'i thabs	25. 'khor loi'i tshul	cakrābhinaya
26. 持杵勢	27. gtun śin gi thabs	26. gtun śin gi tshul	muṣalābhinaya
27. 持燭勢	28. ba dan gyi thabs	27. ba dan gyi tshul	pātakābhinaya
28. 持索勢	29. žags pa'i thabs	28. žags pa'i tshul	pāśabhinaya
29. 持蓮華勢	30. padmai tshul	29. padmai tshul	padmābhinaya
30. 持杖勢	31. be con gyi thabs	30. gtum po'i tshul	dandābhinaya
31. 作無畏勢	32. mi' jigs pa'i tshul	31. mi' jigs pa'i tshul	abhayābhinaya
32. 持鉗勢	33. lcags kyui tshul	32. lcags kyui tshul	amkuśabhinaya
33. 持牌勢	34. 'bras bu'i tshul	33. thoñ gsol gyi tshul	phalakābhinaya
34. 持傘勢	35. mduin thuin gi thabs	34. 'phan mduin gi tshul	kuntābhinaya
35. 持弓勢	36. gzali thabs	35. mda' genis pa'i tshul	cāpābhinaya
36. 挽弓勢	37. mda' gnun ba'i thabs	36. mda' dren pa'i tshul	śarotkarsanābhinaya
37. 射箭勢	38. mda' phan ba'i thabs	37. mda' phen pa'i tshul	śaravikṣepābhinaya
38. 持鉤已波羅旋繞而行勢	39. thag mdurū bskor ba'i tshul	38. thag mdurū 'phen pa'i tshul	bhīṇḍipāparibramanābhinaya
39. 施願勢	40. mchog sbiyin pa'i tshul	39. mchog sbiyin pa'i tshul	varaḍābhinaya
40. 持饌詮帝勢	41. mtshon rtse gcig pa'i thabs	40. mduin thun gi tshul	sākyābhinaya
41. 持幡詮帝勢	42. phyag 'tshal ba'i tshul	41. chui'i tshul	kaṇayābhinaya
42. 頂體勢	43. rdo rje'i dug stañs	42. phyag 'tshal ba'i tshul	prāṇābhinaya
43. 入定勢	44. tiñ nie 'dzin gyi' dug stañs	43. rdo rje'i dug tshul	vairāsanābhinaya
44. 金剛坐勢	45. rdo rje'i dkyl mo dkruñs	44. bsam gtan pa'i tshul	dhyānābhinaya
45. 蓮華坐勢	46. padma'i 'dug stañs	45. rdo rje'i skyil kruñ	vajraparyānika
46. 結跏趺坐勢	47. sems dpai dkyl mo dkruñs	46. padmai 'dug tshul	padmāsana
47. 無畏坐勢	48. dpa' bo'i 'dug stañs	47.. sems dpai skyil kruñ	satraparyānika
48. 豢坐勢	49. bzañ poi 'dug stañs	48. dpa' bo'i 'dug tshul	virāsana
49. 蹲坐勢	50. tsog bu'i 'dug stañs	49. bzañ poi 'dug tshul	bhadrāsana
50. 戲坐勢	51. rtse ba'i 'dug stañs	50. tsog isog por 'dug tshul	utkutukāsana
51. 呈前勢	52. mduin du dgū pa	51. rol pa'i 'dug tshul	(salilāsana)
52. 背向勢	53. rgyar kyis phyogs pa'i tshul	52. mduin du phyogs pa'i tshul	abhimukha
		53. rgyar kyis phyogs pa'i tshul	prsthābhinukta

下 VA と略), 『アーチャーリヤ・クリヤーサムッチャヤ』*Ācāryakriyāsamuccaya* (以下 AKS と略), KSP などにも説かれている。

このうち VA では, 「金剛歩 vajrapada から凝視 vīkṣaṇa までの ākṣepa は, 『マーヤージャーラ』『パラマードヤ』*Paramādya*⁽¹⁰⁾ 『忿怒最勝』*Krodhavijaya*⁽¹¹⁾ 等のタントラに関係しているが, ここでは詳説しない (以下略)」と説かれている⁽¹²⁾。いっぽう AKS には, 「このように『マーヤージャーラ』に説かれた一切の曼荼羅に共通な坐法と印と真言句は, 必ず結ぶべきである」⁽¹³⁾ とある。

これに対して KSP では, kūrmapada と ekapada を加えた 7 種の sthānaka で, 東西南北中央と上下の七方を守護したのち, 左右の手に金剛杵と鈴を持って 42 種の ākṣepā/abhinaya を形成することが説かれる⁽¹⁴⁾。

また KSP では sthānaka と ākṣepa/abhinaya を組み合わせ, 42 種の ākṣepa を 1) āliḍha に 11, 2) pratyāliḍha に 10, 3) vaiśākha に 6, 4) maṇḍalapada に 7, 5) samapada に 5, 6) kūrmapada に 1, 7) ekapada に 2 というよう配当する。なおこれを『立勢の莊嚴』と比較すると, āliḍha に配当されるものが二つ増え, maṇḍalapada に配当されるものが二つ減っただけで, ほぼ一致することがわかった (表 2 参照)⁽¹⁵⁾。

いっぽう VA と AKS には, 『マーヤージャーラ』『立勢の莊嚴』の両者と異なる sthānaka と ākṣepa が説かれる。なお VA と AKS の記述には同文の箇所が多く, そのうちのいくつかは, *Vajrācāryanayottama* の説明とも同文であることがわかった。

このようにインド後期密教儀礼文献に説かれる sthānaka と ākṣepa は, 『マーヤージャーラ』系, ジュニヤーナパーダ系, 『ヴァジュラーヴァリー』系の 3 種に大別できることがわかった。

いっぽう Nepal German Manuscript Preservation Project (以下 NGMPP と略) が撮影した個人コレクションのサンスクリット／ネワール写本の中に

NāgabodhiのŚrī-guhyasamājamaṇḍalopāyikā-viṁśati-vidhiにおける5種のsthānakaと53種のākṣepaについて
Māyājālatantrakriyāsārasaṅgraha: Āsanamudrādimantra⁽¹⁶⁾と題する文献があり、その内容を検討したところ、同様のsthānakaとākṣepaを説くことがわかった。

この写本は近代の書写であるが、sthānakaとākṣepaを図解した白描図像がついているのが貴重である。その内容はsthānakaとākṣepaの配列については『マーヤージャーラ』系に一致するが、sthānakaとākṣepaの組み合わせに関してはジュニヤーナパーダ系に一致し⁽¹⁷⁾、真言もKSPとほぼ一致することがわかった。また根本と東西南北の阿闍梨5名が方位を移動しながら、順次42のākṣepaを形成することが図示されており、興味ふかい（表2参照）⁽¹⁸⁾。

これによってネパール仏教では、『マーヤージャーラ』所説のsthānakaとākṣepaの伝統が、近代まで存続していたことが確認できる。

（4）本文献に見られるsthānakaとākṣepaの特徴

最後に、*Vajrācāryanayottama*に説かれるsthānakaとākṣepaの特徴を、上述の密教儀礼文献と比較しながら考察してみよう。

まずsthānakaの数であるが、ほとんどのテキストはsthānakaを7種と数えるのに対して、本文献では5種としている。

なお本文献によると、kūrmapādaは右足で左足を踏みつけるポーズ、ekapādaは、片足を挙げ片方の足のみで歩くポーズである。したがって、これらは上記5種のsthānakaとは両立しない。これら二つが他文献でsthānakaに分類されたのは、このような理由に基づくと思われる。

いっぽうsthānakaとākṣepaの関係であるが、本文献では「これら亀歩勢等の40のākṣepaにおいては、八つずつのākṣepaが順序通り、展右等の5種のsthānakaに（以下判読不能）」teṣu kūrmmapadādiṣu catvāriṁśadākṣepeṣu [']ṣṭāv aṣṭau ākṣepā yathākramam yathāyogam āliḍhādibhīḥ pa-

表2 ジュニヤーナハーダ系における7種のsthānakaとākṣepaの関係

Vairācāryayanayottama	sTāñ stabs kyi bkod pa(チベット語)	Kriyāśamgrahapāñjikā	Mārājālātantrikrīyāśārasamgraha
ālīdhapada	4. gyas brkyāñ(9)	1. ālīdhapada(11)	1. ālīdhapada
pratyālīdhapada	1. gyon brkyāñ(10)	2. pratyālīdhapada(10)	2. pratyālīdhapada
vaiśākhapada	3. sa gai 'dug stañs(6)	3. vaiśākhapada(6)	3. vaiśākhapada
mañḍalapada	5. zlum por gnas(9)	4. mañḍalapada(7)	4. mañḍalapada
samapada	2. dpe dañ nthun pali stabs(5)	5. samapada(5)	5. samapada
simphapada	7. rus sbal rkāñ stabs(1)	6. kūrmapāda(1)	6. kūrmapāda
simhvajīrmbhītāpada	6. rkāñ pa 'gcig(2)	7. ekapada(2)	7. ekapada
vajrasphoṭa	1. señ gei stāñ stabs	1-1. simphapada	M6C.ālīdhapada
vajramudgara	2. señ gei glal ba	1-2. simhvajīrmbhīta	M7C.ālīdhapada
strimāyākaranya	3. rdo rje srog	5-1. vajrasphoṭa	M8C.samapada
vajrasphoṭana	4. rdo rje tho ba	1-3. vajramudgara	E6C.ālīdhapada
(vajradamṣṭra)	5. bud med kyi sgyu 'phrul	1-4. strimāyākaranya	E92.ālīdhapada
khadgābhīnaya	6. rdo rje dral ba	1-5. vajrasphoṭana	S1E.mañḍalapada
amkusabbhīnaya	7. rdo rje mche ba	1-6. vajradamṣṭra	S3W.ālīdhapada
kuntābhīnaya	8. ral griñ thabs	1-7. khadga	S6SW.ālīdhapada
bhīndipāpatibhāmanābbhinaya	9. leags kyui thabs	1-8. amkuśa	W7.ālīdhapada
vairācāyanābbhinaya	10. mctuñ thuñ gi thabs	1-9. kunta	W9C.ālīdhapada
vairōdralita	11. thag mduñ phen thabs	1-10. bhīndipāla	N4N.ālīdhapada
vairavetāli	12. rdo rje stāñ stabs		
musālābhīnaya	13. rdo rje gsor ba	5-2. vairodralita	E1E.samapada
patākābhīnaya	14. rdo rje ro lāñs	5-3. vairavetāli	E5C.samapada
vairokarsaṇa	15. gtun śñiñ gi thabs	5-4. muṣala	W1E.samapada
vairavilāsa	16. ba dan gyi thabs	5-5. patāka	W2S.samapada
abhayābhīnaya	17. rdo rje gugs byed	3-1. vairokarsaṇa	M2S.vaiśākhapada
phalakābhīnaya	18. rdo rje jo tshul	3-2. vairavilāsa	M3W.vaiśākhapada
varadābhīnaya	19. mi 'jigs pañ tshul	3-3. abhayā	W62.vaiśākhapada
prāṇāmābhīnaya	20. 'bras buñi thabs	3-4. phala	W82.vaiśākhapada
	21. mchog shoyin pali thabs	3-5. varada	N5C.vaiśākhapada
	22. phyag 'tshal ba'i tshul	3-6. prāṇama	N8C.vaiśākhapada

vajrākṣepa	23. rdo rje 'phen pa	2-1. vajrakṣepa	E2S.pratyālīdhpada
vairabhairava	24. rdo rje jigs su ruh ba	2-2. vairabhairava	E4N.pratyālīdhpada
mahābalotkarsana	25. rdo rje stobs po ches 'degs pa	2-3. mahābalotkarsana	S2S.pratyālīdhpada
vairahasita	26. rdo rje gad mo	2-4. vairahasita	S4N.pratyālīdhpada
vairābhīnaya	27. rdo rje'i thabs	2-5. vaira	S7NW.pratyālīdhpada
pāśābhīnaya	28. žags pa'i thabs	2-6. pāśa	W3W.pratyālīdhpada
dāṇḍābhīnaya	29. be con gyi thabs	2-7. dāṇḍa	W5Z.pratyālīdhpada
śaktiyābhīnaya	30. mtshon rise gcig pa'i thabs	2-8. śakti	N6C.pratyālīdhpada
kanayābhīnaya	31. mdun' bu'i thabs	2-9. kanaya	N7C.pratyālīdhpada
vajranartana	32. rdo rje'i gar	4-1. vajranartana	E3W.mandalapada
caturmukhādhishṭhāna	33. sgo bzā'i byin gyis brlabs pa	4-2. caturmukhādhishṭhāna	E7C.mandalapada
	34. rdo rje gdū bu		
vajrakundali	35. rdo rje khvīl pa	4-3. vajrakundali	E8C.mandalapada
vajraranita	36. rdo rje'i sgra	4-4. vajraghantārapita	S5Se.mandalapada
cakrābhīnaya	37. 'khor lo'i thabs	4-5. cakra	S8Ne?..mandalapada
padmābhīnaya	38. padma'i ts'hul	4-6. padma	W4N.mandalapada
cāpābhīnaya	39. gžū'i thabs	1-11. cāpābhīnaya	N1E.ālīdhpada
śarotkarsanābhīnaya	40. mda' gzun bai thabs	4-7. śarotkarsanābhīnaya	N2S.mandalapada
śaravikṣepābhīnaya	41. mda' phān bai thabs	2-10. śaraprakṣepa	N3W.pratyālīdhpada
ekapāda	42. rkān pa ya gcig gi stañs stabs	7-1. garvādvāraya	M4N.ekapada
bhramarijāla	43. buñi bai phur stabs	7-2. bhramarijāla	M5C.ekapada
kūrmāpāda	44. rdo rje 'degs pa	6-1. vajrasattvābhīnaya	M1E.kūrmāpāda
dhyānābhīnaya			
vajraparyanka	1) rdo rje'i dkyl kruñ		
padmāsana	2) padma'i 'dug stañs		
satvaparyanka	3) sems dpai dkyl kruñ		
vīrāsana	4) dpa' bo'i 'dug stañs		
bhadrāsana	5) bzañ poi 'dug stañs		
utkuṭukāsana	6) tsog pur 'dug		
(salīśāsana)	7) rol pa'i gnas thabs		
abhūmukha	mdun du dgū pa		
prsthābhūmukha	phyir dgye ba		

ñcasthānakair ulla[]ḥ とあり、40の ākṣepa が八つずつ 5 種の sthānaka に割り当てられていることがわかる。また写本では、ākṣepa が 1.kūrmapada から 8.vajrasphoṭa, 9.vajrovalita から 15.caturmukhādhishṭhāna, 16.vajrakundali から 25.cakrābhinaya, 26.muṣalābhinaya から 33.phalakābhinaya, 34.kuntābhinaya から 42.praṇamābhinaya の 5 群に分けられている。これは sthānaka への配当に基づいて ākṣepa を分類したものと見られるが、他に類を見ない独自の方軌である。

いっぽう 5 群に分類されない 43.vajrāsanābhinaya から 51.salilāsana までは、『立勢の莊嚴』では坐法 āsana に分類されている。また 52.abhimukha と 53.prṣṭhābhimukha は、観視法 īkṣaṇa/vīkṣaṇa とされる。そこでこれらは立勢 sthānaka に配当されなかったのであろう。

また最後に「以上はヴァーギーシュヴァラの概説」ity āmukho vāgiśvara-sya があるので、これはヴァーギーシュヴァラに由来する口伝であったと推定される。なおヴァーギーシュヴァラをヴァーギーシュヴァラ・キールティと考えれば、『秘密集会』『ジュニヤーナパーダ流』の曼荼羅儀軌 *Samkṣiptābhisekavidhi*⁽¹⁹⁾ の著者と同一ということになる。

本文献に説かれる sthānaka と ākṣepa の配列は、『マーヤージャーラ』系に属している。また一々の ākṣepa の説明は、Praśāntamitra の『マーヤージャーラ・タントラ細疏』⁽²⁰⁾ にもっともよく一致することがわかった。

これは本文献の ākṣepa が、その配列だけでなく内容においても、『マーヤージャーラ』の体系に近いことを暗示している。またこれがジュニヤーナパーダの『立勢の莊嚴』と一致しないことは、Vajrācāryayanayottama の説明が「聖者流」の伝統に基づく可能性を示唆している。これは従来から議論があった、『秘密集会』と『マーヤージャーラ』との成立の先後⁽²¹⁾、「聖者流」と「ジュニヤーナパーダ流」の関係にも新たな資料を提供するものといえよう。

(5) 回収されたサンスクリット原文

それではつぎに、*Vajrācāryanayottama* から回収された *Vimśatividhi*, 3 の中から、sthānaka と ākṣepa を説く部分の原文を、中国藏学研究中心編『丹珠爾』所収のチベット訳（頁の左側）と対照させつつ、以下に掲載することにする。

なお *Vimśatividhi* のチベット訳には、sthānaka と ākṣepa の名目のみしか説かれていない。そこで sthānaka と ākṣepa の説明については、前述の『マーヤージャーラ・タントラ細疏』の対応する部分を[]に入れて、左欄に示した。

本写本はネパール系写本の常として ba と va の区別が無く、sa と śa もしばしば混同されている。*virāma* もほとんど欠落⁽²²⁾しているが、注記することなく適宜訂正した。また写本では、sattva が常套的に satva となり、repha の直後の子音が重複するなど、現在とは異なった正書法が見られるが、本稿ではそのまま転写し、誤植と紛らわしい箇所のみ (sic) を付した。

今回の部分は写本の状態が悪く、損傷や汚損により判読できない部分がかなりある。判読できない部分は[アホ]とし、文字の脱落を VA, AKS, KSP 等を参照して修補した部分は[]でくくり、写本を読みを補正した場合のみ脚注に注記した。これに対して{ }は、写本に存在する文字や記号が不要であることを示し、不要な文字が校正段階で筆誅されている場合は{ }とした。

Nāgabodhi's Śrī-guhyasamājamaṇḍalopāyikā-vimśati-vidhi, 3

[g-yon pa'i byin pa bskum la/]	idānīm ālīdhādilakṣaṇam ucyate/
[g-yas pa rgyar mtho lhār]	vāmajāṁghā saṁkocya dakṣiṇāṁ pañcavi (20b6) tasty

[brkyāñ ba]	āyāmañ prasārayet/
g-yas brkyañ dañ/	ālīd̄hapadam//
[g-yon de bžin du]	dakṣiṇām ākucya vāmā
[brkyāñ ba]	prasārayet/
g-yon brkyañ dañ/	pratyālīd̄hapadam//
[rkañ pa'i phyi rol gyi sor mo'i bar]	śad (sic) viñśatyañgulāyāmañ
[rgyar sor ñi šu rtsa drug gis chod par]	bāhyacaraṇāngulipañcamāñ
[byas la/ pus mo gñis brkyāñ ba'o/] sa ga dañ/	stabdhajānudvayañ kuryāt/ vaiśākhapadam//
[zlum po'i 'dug stañs kyan]	mañḍalam
[de ñid las lag pa gñis rgyar]	tad eva hastadvayāyāmañ
[ñañ pa'i gśog pa ltar byas pa'o/] zlum po dañ/	(20b7) [hañ]sapakṣākṛtiḥ syātaḥ// mañḍalapadam//
[rkañ pa gñis phan tshun du mthe bo dañ]	parasparacaraṇānguṣṭha-
[loñ mo bcer ba'o/]	gulphāśleśāt/
mñam pa'i stañ stabs dañ/	samañpadam// //
[rkañ pa g-yas pas rkañ pa g-yon pa]	dakṣiṇacaraṇena vāmacaraṇam
[mnan pa'o/]	ākrāmayet/
rus sbal gyi stañ stabs dañ/	kūrmmapādaḥ//
[rdo rje sñiñ gar 'degs pa'o/]	vajrasya hṛdy utkarṣaṇād
rdo rje phul byuñ dañ/	vajrotkarṣaṇam//
[rdo rje ñid sgeg pa dañ bcas pas]	vajram eva salilam
[yoñs su bskor ba'o/]	bhrāmayed
rdo rje sgegs pa dañ/	vajravilāsaḥ//
[rkañ pa gcig bteg la]	(20b8) [e]kañ caraṇam
[rkañ pa ya gcig gis 'gro ba'o/]	u[t]kṣipyaikenaiva paribhramet/

NāgabodhiのŚrī-guhyasamājamanḍalopāyikā-viṁśati-vidhiにおける5種のsthānakaと53種のākṣepaについて	
rkañ gcig gis 'phur stañs dañ/	ekapādaḥ//
[lus kun du bskor ba'o/]	śarīrasya samantata[ḥ]
	savyāpa ⁽²³⁾ savyābhīyām bhramaṇād
buñ ba'i 'phur stañs dañ/	bhramarijalaḥ//
[g-yas brkyāñ bas rañ gi kha gdañs la/]	āliḍhena tu svava{kre}ktre
[lag pa g-yon pa'i mkhrig ma'i stoñ du]	prasṛtavāmakaraprakoṣṭha-
[lag pa g-yas pa brkyāñ ba'i]	prṣṭhopari dakṣinaprasṛta-
[mkhrig ma sbyar ba'o]	hastaprakoṣṭhāśleṣāt/
señ ge'i stañ stabs dañ/	siṃhapadaṁ//
['di ñid las]	atrai (21a1) [va]
[rgyab tu lta bar byed pa'o/]	prṣṭhāvalokanaṁ kuryāt/
señ ge'i gal pa dañ/	siṃhavijṛmbhitaṁ padam//
[sñiñ gar rdo rje bciñ ba 'byed pa'o/]	hṛdi vajrabandhasphoṭanād
rdo rje lcags sgrog dañ/	vajrasphoṭah// 1 //
[lag pa gñis kyis rdo rje bskor nas]	vajro[d]valite karādhastād
['og tu rdo rje yoñs su bskor ba las]	vajram parikrāmyordhvam
[brjid bag dañ bcas pas bskyod pa'o/]	salilam cālayet/ ⁽²⁴⁾
rdo rje skor 'dzin dañ/	vajroḍvalitam//
[rdo rje bsnun pa'i tshul lo/]	vajreṇa prahaṇābhīnayāt/
rdo rje 'phen pa dañ/	vajrākṣepah//
[rdo rje dañ gar byed pas lag pa g-yon pa]	vajrenānṛtya vāmabhujam pra
[brkyāñ la/ de'i rtse bar g-yas pa ba dan]	vajranarttanam bhavet//
(21a2)sārya tanmūle dakṣinā-	vajramuṣṭidvayam baddhvā
[gsum par byas pas 'di 'dzin pa'o/]	kaniṣṭhādvayam śrkvanī ⁽²⁵⁾
rdo rje'i gar stabs dañ/	

[kha'i steñ nas 'og tu]	dvaye saṃsthāpya sarvvaduṣṭa-
[lag pa brkyāñ nas]	bhakṣaṇābhinayaṁ kuryāt/
[de ñid 'jigs byed kyi tshul du byas pa'o/]	raktadaṁṣṭrah//
rdo rje 'jigs byed dañ/	vaktrād ūrddhvā{ddha)dhaḥ
[lag pa gñis kyis ro blañs la]	karau prasārayet/ tad eva
[za ba ltar byed ciñ]	[de ñid 'jigs byed kyi tshul du byas pa'o/] bhairavākāram kuryāt/
['gro ba'o/]	(21a3) vajrabhairavam//
rdo rje ro lañs dañ/	[lag pa gñis kyis ro blañs la] hastadvayena śavam ādāya
[rdo rje khu tshur gyis]	carvvaṇābhinayaṁ kurvvan
[tho ba brdeg pa'i tshul du byed pa'o/]	paribhramed
rdo rje tho ba dañ/	vajravetāliḥ//
[śar la sogs pa'i phyogs su sa gnon pa]	vajramuṣṭinā
[la sogs pa'i phyag rgya dañ ldan pas]	pūrvvādīdikṣv ⁽²⁶⁾ akṣobhyādiyogena
[stoñ pa ñid la sogs pa rnam par thar pa'i]	śūnyatādivimokṣamukha-
[sgo bži bsgom pa'o/]	catusṭayam bhāvayan
gdoñ bži byin gyis brlab pa dañ/	paribhrame (21a4) c
[skor phyogs su soñ ste]	caturmmukhādhishṭhānam syāt// 2 //
[rim gyis sa gžir]	pradakṣinam vajram
[rkañ pa gñis 'jog pa'o/]	paribhrāmya krameṇa bhūmau
rdo rje 'khyil ba dañ/	caraṇadvayaprakṣepāt/
[rdo rje gar sñon du 'gro bas]	vajrakuṇḍaliḥ//
[lag pa gñis ka bkur brten la]	strīmāyākāreṇa vajranṛtya-
[mgo g-yon du 'dud par byas pa'o/]	pūrvvakam garvvādvayena
	vāmāvanatam śiraḥ kuryāt/

NāgabodhiのŚrī-guhyasamājamanḍalopāyikā-viṁśati-vidhiにおける5種のsthānakaと53種のākṣepaについて	
bud med ltar sgyu 'phrul byed pa dañ/	strīmāyākaraṇam//
rdo rje lcags sgrog dañ/	vāmaḥastasthakrodha (21a5)
stobs po che phul byuñ dañ/	vajre sarvvaduṣṭān antar-
[rdo rje khu tshur gyi mthe'u dag bzlog la]	bhāvyā dakṣināhastavinyasta-
[kha'i grva mche ba ltar byas nas lce]	krodhavajrenāhanyāt/
[bskyod ciñ khro ba'i lta bas blta ba'o]	vajrasphoṭanam//
rdo rje mche ba dañ/	mahābalotkarṣaṇam hṛdi
[ha ha žes bya ba'i sgra yañ dañ yañ du]	vāmakaram triśukavajrīkṛtya
[byed pa'o/]	dakṣināvajramuṣṭim dandavad
rdo rje bžad pa dañ/	utkṣipya dhārayet/
[rdo rje'i dril bu 'khrol ba'o/]	[vajradamṣṭrah//]
rdo rje sgrogs pa dañ/	aṭṭa{ṭṭa}hāsaṇ punaḥ punaḥ
[g-yon pa'i khu tshur gyi śugs las]	kuryāt/
[drañs nas g-yas pa'i khu tshur]	vajraha (21a6) sitam//
[ral gri'i tshul du gžag pa'o/]	vajraghaṇṭāvādanāt/
ral gri'i tshul dañ/	vajraranitam//
[g-yas pas rdo rje rtse gsum pa 'degs pa'o]	vāmamuṣṭikoṣād
rdo rje'i tshul dañ/	ākṛṣya dakṣināmuṣṭim
[sñiñ gar rdo rje khu tshur gñis kyi]	khaḍgābhīnayena dhārayet/
[mthe'u chuñ dañ mdzub mo]	khaḍgābhīnayah//
[rdo rje 'dud pa byas la/]	dakṣinātriśūlavajro[t]kṣepāt/
['khor lo ltar gtoñ ba'o/]	vajrābhīnayah//
	hṛdi vajramuṣṭidvayasya
	kaniṣṭhike tarjjanyau ca
	vajrabandhīkr (21a7) tya ca
	cakravat muñcet/

'khor lo'i tshul dañ/	cakrābhinayaḥ// 3 //
[rdo rje bciñs pas]	vajrabandhena
[gtun śiñ 'dzin pa'i tshul lo/]	vajramuṣalagrahābhinayāt/
gtun śiñ gi tshul dañ/	muṣalābhinayah//
[lag pa g-yas pa'i mthe bos]	dakṣiṇavajramuṣṭitarjjanī-
[srin lag gi sen mo mnan la]	madhyame salilam
[sor mo lhag ma rnams brkyāñ nas]	prasāryordhvam̄ dhārayet/
[g-yas pa'i dpuñ po'i thad kar gžug pa'o/]	
ba dan gyi tshul dañ/	patākābhinayaḥ//
[`dod pa'i rgyal po'i phyag rgya ñid do/]	ṭakkirājamudraiva
žags pa'i tshul dañ/	pāśābhinayaḥ//(27)
	asyā vibhaṅgaḥ// (21a8)
	[]bhinayena muṣṭidvayam̄
	baddhvā kaniṣṭhādvaya-
	prasāryānyonyam̄ samveṣṭya
	tarjjanī{jva}dvayam̄
	prasārayet mūrddhena tadanu
	vṛddhāṅguṣṭhadvayābhyañ
	jyeṣṭhānāmikādvayam̄ pidhāya/
	vajrahūṃkāramudrā//
[thal mo sbyar ba pad ma ltar]	samputāñjalim̄ padmavat
[phye ba'o/]	vikāśayet/
padma'i tshul dañ/	padmābhinaya (12b1) ḥ//
[g-yas pa'i khu tshur gyi mthe bo]	dakṣiṇamuṣṭim̄ aṅguṣṭha-
[nañ nas bton te bsgreñ ba'o/]	garbbha prakṣipet/
gtum po'i tshul dañ/	dañḍābhinayaḥ//

NāgabodhiのŚrī-guhyasamājamaṇḍalopāyikā-viṁśati-vidhiにおける5種のsthānakaと53種のākṣepaについて

[lag pa g-yas pa mi 'jigs pa'i tshul du]	savyakaram abhayadānākāreṇa
[byed pa'o/]	kuryāt/
mi 'jigs pa'i tshul dañ/	abhayābhinayah//
[lag pa g-yas pa'i mdzub mo]	dakṣinatarjjanīm
[gugs pa'i tshul du byed pa'o/]	ākarṣaṇābhinayena kuryād
lcags kyu'i tshul dañ/	amkuṣābhinayah//
[lag pa g-yas pa'i sor mo]	dakṣiṇakarāṅgulih
[brkyāñ nas cuñ zad bskum pa'o/]	prasāryākuñcayet
thoñ gṣol gyi tshul dañ/	phalakābhinayah// 4 // (12b2)
[rdo rje khu tshur gñis kyis]	vajramuṣṭidvayena
[bsnun pa ltar byed pa'o/]	preraṇābhinayaṁ kuryāt/
'phañ mduñ gi tshul dañ/	kuntābhinayah// ⁽²⁸⁾
[lag pa g-yon pas gžu 'dzin pa'i tshul lo/]	vāmaḥaste cāpagrahanāt/
mda' 'geñs pa'i tshul dañ/	cāpābhinayah//
[lag pa g-yas pa'i mdzub mo dañ guñ mo]	dakṣiṇatarjjanīmadhyamābhyaṁ
[gñis kyis mda' blañs la gsor ba ltar]	śarotkarṣaṇanayaṁ ⁽²⁹⁾
[byed pa'o/]	kuryāt/
mda' 'dren pa'i tshul dañ/	śarotkarṣaṇābhinayah//
[de dag ñid kyis mda' 'phen pa'i]	tābhyaṁ eva śara{t}
[tshul du byed pa'o/]	prakṣepāt/
mda' 'phen pa'i tshul dañ/	śaravikṣepābhinayah// (12b3)
[lag pa g-yas pa'i khu tshur gyis]	dakṣiṇavajramuṣṭiṇā bhiṇḍi-
[thag mduñ yoñs su bskor ba'i tshul du]	pālaparibhramaṇābhinayaṁ
[byed pa'o/]	kuryāt/
thag mduñ 'phen pa'i tshul dañ/	bhiṇḍipālaparibhramaṇābhinayah//
[lag pa g-yas pa]	dakṣiṇahastam

[mchog sbyin pa'i tshul du bzag pa'o/]	varadābhīnayena sthāpayet/
mchog sbyin pa'i tshul dañ/	varadābhīnayah//
[lag pa g-yas pas gsor ba]	ullālayanapūrvvakam
[sñon du 'gro bas mduñ thuñ]	dakṣiṇakareṇa
[phen pa'i tshul du byed pa'o/]	śaktiprakṣepaṇābhīnayāṁ kuryāt/
mduñ thuñ gi tshul dañ/	śaktyabhinayah//(30)
[mduñ rtse gcig pa 'phen pa'i tshul lo/]	kaṇa (12b4) yam ākṣapābhīnayāt/
chu'i tshul dañ/	kaṇayābhīnayah//
[thal mo sbyar nas bstod pa byed pa'i]	samputāñjaliṁ stutikaraṇā-
[tshul du sñiñ gar 'jog pa'o/]	bhīnayena hṛdi sthāpayet/
phyag 'tshal ba'i tshul dañ/	prāṇāmābhīnayam iti// 5 //
[de nas rdo rje skyil mo kruñ la sogs pa]	saṁprati vajrāsanābhīnayādi-
[rnams kyis/ dbus su 'dug la Hūṁ ces]	bhir mmadhye sthito Hūṁkāro-
[brjod ciñ sa'i cha rdo rje'i rañ bzin]	c[c]ārapūrvvakam tathaiva
[bar ba rnam par gyur par bsam mo/]	vajramayīṁ bhuvāṁ kārayet/
rdo rje'i 'dug tshul dañ/	akṣo (12b5) bhyamudraiva/
bsam gtan pa'i tshul dañ/	vajrāsanābhīnayah//
rdo rje'i skyil kruñ dañ/	amitābhāmudraiva/
[g-yas pa'i byin pas g-yon pa mnan la]	dhyānābhīnayah//
[pus mo gñis phab pa'o/]	dakṣiṇajamghorumadhye
padma'i 'dug tshul dañ/	vāmapādaṁ nyaset/ tadupari
	dakṣiṇam nyaset/
	vajraparyāṇkam//
	dakṣiṇajamghākrāntavāma-
	jamghāvanata ⁽³¹⁾ jānudvayāṁ/
	padmāsanam//

NāgabodhiのŚrī-guhyasamājamanḍalopāyikā-viṁśati-vidhiにおける5種のsthānakaと53種のākṣepaについて

vāmopa (12b6) ri dakṣiṇapādaṁ
 nyasya vāmaṇi tadaṁha[ḥ] sthāpayet//
 sems dpa'i skyil kruṇi daṇi/
 dpa' bo'i 'dug tshul daṇi/
 [stan la rkaṇi pa gñis draṇi por]
 ['jog pa'o/]
 bzaṇ po'i 'dug tshul daṇi/
 tsog tsog por 'dug tshul daṇi/
 rol pa'i 'dug tshul daṇi/
 mñon du phyogs pa'i tshul daṇi/
 rgyab kyis phyogs pa'i tshul ūes bya ba'o//

sattvapa{?}rya{?}ṅkah//
 vāmacaraṇenārddhaparyyaṅkam
 ābaddhya tatsamīpe dakṣiṇam
 pādapraguṇam nyased
 vīrāsanam//
 እjucaraṇadvayam āsanastho
 dhārayed
 bhadrāsanam//
 vitastyā{staka}ntari(12b7)ta-
 pādadvayam āsane
 nyasyotkuṭukam [tiṣṭhet/]//
 utkuṭukāsanam//
 dakṣiṇacaraṇam
 sattvaparyyaṅkasthīkṛtya/
 vāmasalilāṇi prasārayet/
 na likhātā[....]
 purato vīkṣamāṇād⁽³²⁾
 abhimukhaḥ//
 atraiva pr̄ṣṭhāvalokanāt//

(12b8) [pr̄ṣṭhābhī]mukhaḥ syāt//

tatrālīḍhādipañcasthānakāni/
 kūrmmapadādayaś ca

tripañcāśad ākṣepā
māyā[jā]lāditañtrotktāḥ//
teṣu kūrmmapadādiṣu
catvāriṁśad⁽³³⁾ ākṣepesu
[']ṣṭāv aṣṭau(sic)ākṣepā
yathākramam̄ yathāyogam
āliḍhādibhiḥ pañcasthānakair
ulla (12b9) []ḥ punas
trayodaśaniṣaṇṇena pañca[]
ity āmukho vāgīśvarasya//
caturvi{śa}dham̄ punar
vajrapadam̄/ ekaśūcikādi
āliḍhādinā salilakamalāvartta-
pūrvvakām̄ prayojyam//
tataḥ prāgvan nṛtyam̄ kr{tyā}
tvānyābhimukha⁽³⁴⁾ vajramuṣṭidvayam
(13a1) []sthāpanenākṣepam
upasam̄harati-m-iti// //

- 1 *Vajrācāryanayottama* の写本については、拙稿「ネパールのサンスクリット語仏教文献研究—第41回学術大会における発表以後同定された断片について—」『印度学仏教学研究』46-2 (1998[平成10]年) を参照。なお2002年のヨーロッパ調査で購入したドイツのゲッティンゲン大学所蔵の Sanskrit Manuscript Xc14/30の一部が、*Vajrācāryanayottama* に相当することを確認したが、*Vimśatividhi* に対応する部分は見いだされなかった。この事実は、*Vajrācāryanayottama* のカトマンドゥ写本に、*Vimśatividhi* に註を施した文献が混入していた可能性を示唆している。
- 2 本誌144号所収の拙稿「Nāgabodhi の Śrī-guhyasamājamanḍalopāyikā-viṁśati-

- NāgabodhiのŚrī-guhyasamājamaṇḍalopāyikā-viṁśati-vidhiにおける5種のsthānakaと53種のākṣepaについて
vidhiにおける灌頂の後方便について」の執筆時点では5篇の論文が刊行されていた。また『立川武蔵教授還暦記念論集』Three Mountains and Seven Rivers (Motilal Banarsidass)に寄稿した5.pṛthividevatā-kalaśādhivāsanavidhiと6.vijñānavidhiのローマ字化テキストも、2004年中に刊行の予定である。
- 3 tatrāliḍhādipañcasthānakāni/ kūrmmapadādayaś ca tripañcāśad ākṣepā mā-yā[jā]lāditamtroktāḥ//
- 4 なお『マーヤージャーラ』の註釈類は瑜伽タントラに分類されており、同タントラの帰属については、古来から異説があったと考えられる。
- 5 北京No.456, なおこのテキストは、チベット仏教ニンマ派のマハーヨーガ乗の内容をまとめた『サンワイニンポ』に近い内容をもっており、新訳本とは大きく異なっている。
- 6 Māyājāla-mahātantrarāja-nāma (北京No.102), 訳出は11世紀。
- 7 大正No.890, Vol.18, 560c-561a.
- 8 北京No.2727. なおサンスクリット原題は、テキストには与えられていない。また『影印北京版西藏人蔵経総目録・索引』に与えられる「漉過法莊嚴」の訳は、水の濾過法を解説した儀軌と誤解したもので、適当ではない。
- 9 KSPを参照すると、『立勢の莊嚴』所説の44のākṣepaのうち12.と34.が省略されているようである。
- 10 『パラマードヤ』は『理趣經』の広本である『理趣廣經』(大正No.244)に相当する。筆者が漢訳を搜索したところ「金剛歩」を説く箇所が見いだされたが、ākṣepaの名目を列挙した部分は発見できなかった。
- 11 『忿怒最勝』はチベット訳Krodha-vijaya-kalpa-guhya-tantra(北京No.291), 漢訳の『妙吉祥最勝根本大教王經』(大正No.1217)に相当するが、筆者が漢訳を搜索した限りでは、対応する箇所を発見することができなかった。なお東文研で行われた永ノ尾研究会の席上、森雅秀氏よりチベット訳の末尾近く(Vol.7, 226-2-6以下)に対応箇所があるとの教示を受けた。ただしākṣepaの名目と配列は、Māyājālaとはかなり異なっており、別系統と考えられる。
- 12 vajrapadādiś ca vīkṣaṇaparyantān ākṣepān māyājālaparamādyakrodhavijay āditantre yuktān// nātravivṛtān... (Vajrāvalī, Śata-piṭaka Vol.239,32,5)
- 13 iti māyājāloktāni sarvamaṇḍalasādhāraṇāni// āsanamudrāmantrapadāni// avaśyam eva baṇḍhanīyāni// (Kriyāsamuccaya, Śata-piṭaka Vol.237,76,6-7)
- 14 KSPのpadasādhanaについては、Tadeusz Skorupski: *Kriyāsamgraha*, Tring, 2002, pp.92-99に概説されている。ただしSkorupski博士は、いくつかのākṣepa

の名目、数え方などを誤っている。

- 15 表の KSP の欄で1-1としたのは、1. *āliqha* に配当される11の *ākṣepa* のうちの 1 番目という意味である。同様にして、5-2は5.*samapada* の 2 番目を意味する。
- 16 NGMPP, Reel No.H-7008. NGMPP が撮影したリールHの写本は、原則としてカトマンドゥの個人コレクションである。
- 17 唯一の例外は、*vajrasphoṭana* を *āliqha* ではなく *māṇḍalapada* とすることだが、白描図像では *āliqha* のように描いており、不注意によるミスと思われる。
- 18 表 2 では、1) *ākṣepa* を形成する阿闍梨 (M,E,S,W,N), 2) *ākṣepa* の番号, 3) 形成する方位 (C,E,S,W,N), 4) 対応する *sthānaka* の順に表示した。したがって M6C は根本阿闍梨が 6 番目に中央で、S6Sw は南の阿闍梨が 6 番目に涅槃底方 (南西) で形成することを示す。また写本で方位の記述が欠けているものは?とした。
- 19 この文献と著者 *Vāgīśvarakīrti* については、桜井宗信『インド密教儀礼研究』(法藏館, 1996) 参照。
- 20 *Māyājāla-tantrarāja-pañjikā* (北京 No.3337)。なお影印本北京版には判読不能の部分があり、主に中国藏学中心編『丹珠爾』(対勘本) 第31巻所収本によった。
- 21 『秘密集会』と『マーヤージャーラ』の成立の先後に関しては、松長有慶博士が『マーヤージャーラ』を『秘密集会』の先行聖典とする説を唱え、ほぼ定説化していたが、川崎一洋氏は『幻化網タントラ』に見られる五秘密思想』(『密教文化』211所収)において、これに疑問を呈している。
- 22 ネパールの古文字学の権威 Hemaraj Shakya 氏によれば、本文献のような *Maithili* の写本では、*virāma* はしばしば欠落するという。
- 23 Ms. : *savyāva*
- 24 Ms. : *cyclayet/*
- 25 Ms. : *srksaṇī*
- 26 Ms. : *pūrvvādidiṣku*
- 27 Ms. : *pāśobhinayah/*
- 28 Ms. : *kumbhābhinayah/*
- 29 Ms. : *śarotkarṣaṇānayah*
- 30 Ms. : *śaktyābhinayah//*
- 31 Ms. : *jamghavata*
- 32 Ms. : *vikṣamāṇad*
- 33 Ms. : *cattvārimśad*
- 34 Ms. : *kr̥tyā)tvānyobhimukha*